

眼科

(スタッフ)

部長 : 山田 喜三郎 (2021. 4月から)
 : 池邊 徹 (2021. 3月まで)
 副部長 : 波津久 智伸
 : 山田 喜三郎 (2021. 3月まで)
 専攻医 : 佐藤 義樹 (2021. 4月から)
 視能訓練士 : 加藤 千鶴
 : 浦松 しのぶ

(診療実績)

一般外来は月・水・金の午前中で火・木が手術日です(全麻手術枠は火曜の午前と第1・3・5木曜の午前です)。午後は注射治療、レーザー治療、蛍光眼底造影検査、視野検査などを予約制で行っています。糖尿病黄斑浮腫や網膜静脈(動脈)閉塞症に対する抗VEGF薬硝子体注射治療を要する紹介が多く、午後の診察枠も超過している現状です。木曜午前は小児眼科外来(予約制)を行っています。開業医の先生や他科からの急患の診療依頼にもできるだけ対応しています。

2021年の入院患者数と手術件数をそれぞれ表1、表2に示します。当院へご紹介いただく症例の多くは入院加療が必要な患者です。低年齢層の眼瞼手術や斜視手術、認知症患者や高齢患者の白内障手術などは全身麻酔での手術となります。2021年はコロナ禍の影響で手術件数は激減してしまいましたが、全身麻酔症例は99件で約25%を占めていました。最近では全身麻酔手術の待機期間が長期化してきています。網膜硝子体疾患で当院にて治療困難な症例は大分大学に依頼しています。

(今後の方向性)

2022年3月末に佐藤義樹医師が大学へ異動し、4月から石部智也医師を迎え、新体制となります。

今後も全身麻酔を必要とする紹介の増加が予想されますが、可能な限り対応させていただき、患者に少しでも貢献できればと考えています。

(文責：山田喜三郎)

表1 疾患別入院患者数

(単位：人)

疾患	2020年	2021年
眼瞼・涙器疾患	18	28
結膜疾患	1	6
角膜・強膜疾患	13	11
原田病	6	4
その他のぶどう膜炎	3	4
白内障	356	269
網膜動静脈閉塞症	2	6
黄斑円孔・黄斑前膜	7	12
その他の網膜硝子体疾患	22	19
緑内障	13	11
視神経疾患	4	6
斜視	5	7
眼窩疾患	6	2
その他	7	7
計	463	392

表2 入院患者疾患別手術件数

(単位：件)

疾患	2020年	2021年
眼瞼・涙器疾患	13	35
結膜疾患	2	10
白内障	348	298
網膜硝子体疾患	21	25
緑内障	10	10
斜視	5	7
その他	18	3
計	417	388